

■ 9月は基本的教育と識字率向上月間です。(My-Rotary リソースより)

「学校に行くだけでは識字率は高まらない。授業改革に乗り出したロータリーのアプローチとは。」 ウォドンさんのクラブは、ネパールのカトマンズ・ロータリークラブと協力して、授業改革に力を入れている NTTI と非政府団体 PHASE を支援しています。これまで授業といえば、生徒たちはただ受け身で座っているだけ。しかし、このプロジェクトで授業の主体となるのは生徒たちです。「これまで慣れてきた授業の方法を変えることは簡単ではないが、教え方を変えようという考え方は徐々に浸透しつつある」とウォドンさん。

キャロライン・ジョンソンさん(米国メイン州、ヤーマウス・ロータリークラブ所属)は、グアテマラ中部の山岳部で出会った小学1年の担任教師から聞いた言葉にショックを受けました。この教師は、「グアテマラ識字率向上プロジェクト」に参加する以前、生徒たちが読み方を覚えるのは「無理だと思っていた」と言うのです。「その教師はこう言いました。“1日授業をしなくて済むし、本がもらえ、おいしいランチも出ると聞いたので喜んで研修に参加したけど、心の中ではまったく無駄な試みだと思っていた”、と」。このプロジェクトでは、この教師をはじめとする100人以上が、8カ月にわたり研修を受講。まる暗記や書き取りではなく、子どもの思考力を高める授業のメソッドを学びました。ジョンソンさんはこう続けます。

「その教師は、生徒50人中45人が読み方を覚え、2年生に進学できたと興奮気味に語りました。参加した教師の90パーセントが、研修の効果を確信するようになりました。教師になってよかったとあらためて実感し、今では何かを変えられると信じて教壇に立っています」これまで数十年、識字率向上の取り組みといえば、「就学を妨げる要因をなくす」「教材を提供する」など、子どもたちが学校に通うための支援が中心でした。しかし今、専門家の多くは「それでは不十分」と指摘します。生徒の学力を伸ばすには、まず授業で教える側の力を伸ばす必要があるのです。

「通学率よりも学習成果を重視」

このグアテマラでのプロジェクトや「ネパール教員研修イノベーション (NTTI)」など、ロータリーのプロジェクトは「教える力」を高めることで、子どもたちの読む力を育てています。教員への支援に力を入れているのはロータリーだけではありません。国連や米国国際開発庁 (USAID) も、教師への援助を重視した取り組みを行っています。識字能力の向上は、より良い生活を送るための条件であり、「極度の貧困を削減する」という大きな目標に向けた活動の一環でもあるからです。世界銀行のリードエコノミスト、クエンティン・ウォドンさんは、専門家として、またキャピトルヒル・ロータリークラブ (ワシントンDC) のメンバーとして、教育プロジェクトを研究してきました。学習の成果を改善したいなら教師を抜いて考えることはできないと、ウォドンさんは力説します。「子どもたちの学習効果を上げるには、教師の存在に幅広く注目すること」とウォドンさん。教師への研修は、世界銀行が定めた8つの主要目標のひとつでもあります(ほかの目標は「教師への期待を明確にする」「優秀な候補者を集める」「教師のスキルを生徒のニーズに合わせる」「教師の基本理念を掲げる」「モニタリングする」「継続的にサポートする」「モチベーションを高める」)。ウォドンさんのクラブは、ネパールのカトマンズ・ロータリークラブと協力して、授業改革に力を入れている NTTI と非政府団体 PHASE を支援しています。このプロジェクトで授業の主体となるのは生徒たちです。(次号へ)

週報

インスピレーションに
なろう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



第2817回例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	80名
出 席 計 算 会 員	80名
出 席	43名
欠 席	37名
出 席 率	53.75%
訂 正 出 席 率	68.75%

欠席会員名 新本、森、新垣(典)、中村、湧川(祐)、東川平(靖)、亀川(偉)、吉村、与儀、三反園、長嶺(善)、喜屋武、國吉、具志堅、今福、新垣(安)、倉林、朱、宜保、吉岡、井手上、上原(進)、真栄城、新垣(竜)、安里(繁)、長嶺(国)、畔上、東川平(信)、川井田、赤嶺、本郷、桑野、堀川、石垣、今西、下地、佐久本。

MAKE-UP 名嘉、中村、木全、新垣(豊)、津嘉山、白石<ニコニコクリーンアップ清掃活動>新本<ロータリーの友事務所理事会・常任委員会2日間/RI第2ゾーン戦略計画推進セミナー2日間(東京)>

ビジター

阿部 輝彦 氏(東京南)

伊野波 盛求 氏・照屋 義実 氏(那覇西)

☆プログラム

9月4日(火)

「イニシエーションスピーチ」

前原正人行政書士事務所 行政書士 前原正人 会員
みかさリアルエステート(株)取締役 下石衛 会員

9月11日(火)

「FC琉球の現状について」

FC琉球ゼネラルマネージャー 李 濟華 氏

9月25日(火)「演題未定」

沖縄米国総領事館 政治軍事経済担当

ヒラリー・ダウアー 氏

10月2日(火)

「米山月間にちなんで 米山奨学生卓話」

10月9日(火)

「IMに向けての打合せ」

10月16日(火) 14:00点鐘

「沖縄分区分インターシティミーティング(IM)」

10月23日(火) 休会

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1 (パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918
E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス : <http://naha-rc.org/>
会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一
幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX(*^^)

山城 博美 会長

安里会員の3ヶ年連続のポール・ハリス・ソサエティ、米山記念奨学会への多額の寄付に敬意を表してニコニコ。

親泊 一郎 会員

東京南 RC の阿部さん、那覇西 RC の伊野波さん、照屋さんの来訪を心から歓迎します。

米須 義明 会員

会員増強月間、目標達成に向けて頑張ります。ニコニコ。

■幹事報告 松島 寛和 幹事

*他クラブ例会変更・休会

・那覇南 RC 9/10 (月) 18:30 点鐘

場所：パシフィックホテル沖縄2階「カネオへ」
ビクター費：5,000 円

・那覇北 RC 9/13 (木) 休会

☆ロータリーの基本知識「会員の責務」

クラブは、ロータリーの礎であり、有意義な多くの活動が実施されます。成果を挙げるクラブは、すべて、次の四つの特徴をもっています。

- ① 会員数を維持、増加させる努力をしていること。
- ② 自らの地域社会と他国の地域社会に恩恵を与える奉仕プロジェクトに、よく参加していること。
- ③ 資金拠出やプログラムへの参加を通じ、ロータリー財団を支援していること。
- ④ クラブレベルを超えてロータリーの為に奉仕できる指導者を育成していること。

*ロータリアンがロータリーから何を求めるかは、ロータリーのために何をしましたか?にかかっています。会員としての義務規定の多くは、ロータリーでの経験を十分に享受することを目的に設定されています。

■テレビ会議のお知らせ <東京>ガバナー

事務所 ⇄ <沖縄>那覇 RC 事務局

*地区ロータリー財団委員会

9/5 (水) 15:00~17:00

*地区青少年奉仕委員会

9/6 (木) 15:00~17:00

■特別会計 2018~2019年度 ニコニコBOX

本日のニコニコBOX	¥4,000
ニコニコBOX 累計	¥122,000

■ポール・ハリス・ソサエティ・米山功労者寄付



安里政晃会員より
山城会長へ。PHS
千ドル米山功労者十
万円、三年連続でご
寄付下さいました。

*ロータリー財団・米山記念奨学会へのご寄付は随時受付中。クラブ事務局までお声掛け下さい。 ~ 世界でよいことをしましょう ~

・米山功労者

個人の特別寄付金の累計額が10万円に達したとき、または一度に10万円もしくはそれ以上の特別寄付をされたとき、第1回米山功労者として感謝状が贈られる。累計20万円で第2回、30万円で第3回・・・累計100万円で、第10回米山功労者メジャードナーとなる。

■会長報告 山城 博美 会長

*本日は当クラブ元会員で、現在は東京南ロータリークラブに在籍されております阿部輝彦会員がメイクアップにお見えになりました。又、那覇西ロータリークラブより伊野波様、照屋様もお見えです。歓迎申し上げます。後ほど上原会員、平良会員の「イニシエーションスピーチ」よろしくお願ひいたします。本日も愉しんでまいりましょう。

*8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。残念ながら今月はまだ入会がございません。米須会員増強委員長、今年度の会員増強目標達成に向けてよろしくお願ひ致します。また会員の皆様方も、どうぞご推薦を下さいますようお願い致します。

■会員増強へのご協力をお願いいたします。



今年度会員増
強目標の達成
に頑張ります
と米須委員長

~ Lets Enjoy Rotary ~

■第7回例会

「イニシエーションスピーチ」

上原 修 会員 (上原司法書士事務所長)



奉仕の精神
学び、社会貢
献したい!

今月50歳になった。人口約4900人で、84%が亜熱帯林に覆われている国頭村の出身だ。山と川と海だけで、平坦地がほとんどない。県内で唯一、森林セラピーに認定されていて、比地の大滝や与那覇岳の山道など4つのセラピー道を擁している。

実家は父が薬局や化粧品などの雑貨店を営み、住み込みの店員5~10人と同居して過ごし、いろいろな経験をしたのは財産だ。高校時代にボクシングを3年間やったが、スポーツも勉強も、遊びも中途半端だった。

大学は沖縄国際大学に進学し、法律の勉強だけはまじめに続けようと思った。教授から、ケネディ元米大統領が有名大で講演し、「世界で一番美しい場所は大学だ。社会のしがらみ、人間関係、立場に関係なく、純粹に学び、正義を追求し、社会にぶつけられる」と述べたという話を聞き、刺激を受けた。大学を卒業して上京し、社会に役立つ、独立した仕事として司法書士を目指した。5年目に合格したが、7時から12時までアルバイトし、13時から勉強する。移動する電車も席も同じ、同じかばん、同じ服を着て、食事も駅前の同じ店で済ませるルーチンを繰り返し合格したが、それまで白黒の色のない世界で過ごした感じだった。仕事でいろいろな人に会え、いろいろなご相談を受ける喜びを感じている。法律相談会や東日本大震災の支援ボランティア活動もしている。この仕事を選択し、よかった。奉仕の精神を培いたい。ロータリアンとして先輩会員の指導を受けながら、社会貢献していきたい。ご指導をお願いしたい。

文責：松元 剛 クラブ会報委員長

平良 修一 会員 (大鏡建設 代表取締役社長)



「9連休制度と
minako
o (みんなの
声)」で活性化
を図る!

創業は1975年。私の生後2カ月目に会社でできた。父が創業し、2012年から社長を務めている。当初は公共工事メインだったが、1994年、設計、施工するマンション建設に参入して、転機になった。10年後に不動産管理部門を始めた。今はほとんど民間工事だ。特に土地を持つオーナー向けアパート建設、幹線道路沿いのテナントとマッチングした設計施工、監理など提案型営業が主になっている。604棟、施工した。賃貸経営サポートモデルとして建築後30年、40年たつ間の修繕、相続などに対応するトータルサポートを掲げている。売上は直近で30億から40億円を行ったり来たり。しっかり右肩上がりにやっていきたい。管理戸数は1500戸を超えている。社員は120人。去年は30人増えた。男女比率は7対3。平均年齢が30代前半と若くなっている。私は「自ら問い、自ら考え、自ら行動する」社員を育成したい。そこで、「9連休制度」を取り入れている。入社2年目以降、年一度取得でき、有休消化ではない。行きたい場所、やってみいたいことにチャレンジしてほしいと、土曜日から翌週日曜日までの9連休を取ってもらおう。続けることでいろんな気づきをしてほしい。社員は小笠原一人旅行、そば打ち挑戦、家族大旅行など多くの体験をしている。社内活性化プロジェクトに「minako (みんなの声)」がある。社員にITを使って匿名でアイデアを提言してもらい、いい提案に30票入ると、1回は実現する。シェア本棚、余った建設資材を有効活用したDIY、3年前から始めた社の運動会などが実現した。本年度は「今帰仁プロジェクト」がある。住民主体でワークショップをし、今帰仁らしい地域発展を目指す街づくりプロジェクトだ。早ければ、来年、動き出す。